

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 494

所管部局	土木建築部	所管課	土木管理課	担当者名	福井 克己
事業名	道路除雪事業			事業分類	施設管理費
細事業名	道路除雪事業			政策体系	333
会計	一般会計	科目	8.土木 - 2.道路 - 2.道路		

1. 事業の概要

道路除雪計画に基づき、管内の幹線道路の除雪及び融雪剤散布を行う。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

降雪期間（毎年12月1日から翌年3月15日まで）における除雪計画を定め、市民の生活道路としての安全な交通体系を確保する。

②事業を実施する必要性

生活道路における安心・安全な道路交通の確保。

3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円	12,921	33,799	30,478	23,117	25,252	14,000	14,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	6,356	6,631	7,106	6,982	0	0
	地方債	千円	0	0	0	3,000	3,300	0	0
	一般財源	千円	12,921	27,443	23,847	13,011	14,970	14,000	14,000
職員等の従事人員		人/年	—	—	1.22	1.30			
人件費		千円	—	—	8,423	9,497			
事業費総額		千円	—	—	38,901	32,615			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。

※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

※平成21年度の国・府支出金は建設機械整備費補助金(6,629,000円)と京都府未来づくり交付金(477,000円)である。

4. 主な事業費の内訳

除雪機器修繕他	3,062,422円	(修繕料)
除雪作業委託(除雪・積雪観測)	7,208,918円	(委託料)
除雪器具機械購入	1,513,050円	(備品購入費)
除雪車両購入	10,783,500円	(備品購入費)

5. 事業結果の概要

除雪機車検整備及び自主点検整備他	4台
融雪剤散布機購入	1台(八木支所)
フロントドーザ購入	1台(日吉支所)
倒木処理用チェーンソー購入	1台(日吉支所)
除雪ドーザ8t級購入	1台(美山支所)

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 計画・調査		
各支所へ道路除雪計画策定の依頼	平成21年11月27日	
南丹土木事務所管内平成21年度除雪会議出席	平成20年11月19日(木) 午前10時～	京都府及び近隣市町の除雪計画の確認
京都府南丹土木事務所と平成21年度除雪に関する覚書の締結	平成20年11月30(月)	
(2) 実施		
園部管内融雪剤配布 150袋 日吉管内融雪剤散布委託 日吉管内除雪作業委託 美山管内除雪作業委託 積雪 観測委託 除雪機修繕	平成21年12月 1日～ 平成22年 3月15日まで	
除雪計画の実施	平成21年12月1日～ 平成22年3月15日まで	
除雪機購入 八木支所:融雪剤散布機 1台 日吉支所:フロントドーザ 1台 美山支所:8トン級除雪機 1台	平成21年12月 平成21年12月 平成22年 3月	除雪機動力の向上

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

除雪計画の熟知と除雪重要箇所や的確な気象情報の把握に努め、安全・安心な交通の確保を図る。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
除雪計画の熟知と除雪重要箇所の把握
- ③反省点、今後の展開・方向性等
高齢化や除雪器具機械の経済的維持困難な状況で、除雪受託者の確保が困難な状況にあるため、除雪器具や除雪車両を整える必要がある。